

八街の歴史・文化財出前講座

・市教育委員会では、より良いまちづくりと身近な学び場の充実の一環として、市民の皆様への歴史や文化財の概要を知っていただくための「八街の歴史・文化財出前講座」を実施します。

対象

市内に在住・在学・在勤する方を主体とする5人以上で構成された団体

実施期間

年中〔ただし、祝日、年末年始（12/28～1/4）を除く日及び市の行事等と重ならない日〕
午前9時から午後9時までの2時間以内（講座内容により変動します）
※希望日の3週間前までにお申し込みください。

申込場所

社会教育課または郷土資料館

実施会場

ご希望の会場まで出前します。

（原則市内とし、申込み団体の方にご用意いただきます。）

実施料 原則無料

出前講座メニュー

八街市内の文化財	時間: 1時間～	
八街の歴史的・地理的特色によって育まれてきた、有形文化財・民俗文化財・記念物をはじめとする様々な文化財について ・国指定文化財『山邊郡印』（八街市出土）・市指定文化財 ※内容は各種の文化財について個別に対応できますので、事前にご相談ください。		
八街の歴史 前編	時間: 1時間30分	
太古から戦国時代までの市域の歴史について 日本の歴史という大きな流れの中で、八街市域に暮らした先人たちが、どのような影響を受け、どのような環境の中で生活を営み、歴史を刻んできたのかを知る。		
八街の歴史 後編	時間: 1時間30分	
近世から近代までの市域の歴史について 江戸時代、幕府の直轄牧として成立していた八街市域が、どのような役割を担っていたのか。また、明治以降、近代化の波の中でどのように現在の八街市へと発展していったのかを知る。		
発掘調査でわかった八街のむかし	時間: 1時間30分	
文献には表れない、発掘で掘り起こされた八街の歴史について 市内で実施された発掘調査の成果に基づいて、調査時の豊富な写真を見ながら、身近に残されてきた遺跡の概要と歴史の足跡を知る。		
勾玉作り体験	時間: 1時間～	材料費: 150円
勾玉は、いにしえの人々が好んでつかったアクセサリーやお守りです。作業しやすい滑石をつかい、削り・磨き体験しながら、世界で一つだけの勾玉を作ってみませんか。		
八街市の近代遺産	時間: 1時間～	
八街の近代の遺産について 開拓地であった八街が八街市として発展する中、その陰で失われてきた近代の遺産・史跡を知る。 (軽便鉄道・飛行場)		
八街の石造物・絵馬	時間: 1時間～	
八街の石造物と絵馬について 先人たちの暮らしの中にとけこみ、引き継がれてきた市内各地に残る石造物や絵馬について知る。 (石造物・絵馬)		
古村を巡る文化財探訪	時間: 4時間程度	(屋外)
用草・岡田・根古谷地区に所在する文化財や景観を見学しながら散策する。最短約3kmのコースです。現地集合・解散(ふれあいバス(西コース)もご利用できます。用草公民館下車) 見学ポイント 岡田馬頭観世音堂、岡田の神社集落、法宣寺、寝釈迦、根古谷城跡など		
ふれあいバスは座席数14、定員24名の乗り合いバスで、一般のお客様が乗車します。少人数向けのメニューです。		

※その他、講座内容等についてご希望・ご相談がありましたら、
社会教育課 (Tel 043-443-1464) 文化財係へご連絡ください。